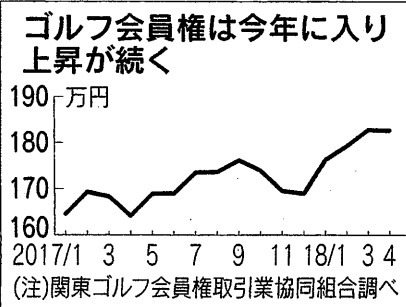


ゴルフ会員権相場が一段と上昇している。関東ゴルフ会員権取引業協同組合（東京・千代田）がまとめた関東圏の4月の平均価格は（主要150コース平均）は前年比11・3%高い182万7000円となった。伸び率が2桁となったのは4年3カ月ぶり。春は例年取引が少ない時期だが今年度は法人需要の伸びが大きく、全体をけん引した。

新役員就任が集中する6月の株主総会シーズン控え、例年4月は法人の注文

ゴルフ会員権 11%上昇

が減る。今年度は「役員交代いかんにかかわらず接待用に購入する例が多く、4月になっても注文が多かった」（仲介のゴルフホットライン＝東京・豊島）。同社



4月、法人需要伸び大きく

の4月の注文は例年に比べ2〜3割多かったという。特に相場が上がっているのは高額な名門コースだ。仲介大手の桜ゴルフでは500万円以上1000万円以下の会員権の注文が42・9%増加し、相場は4月の1カ月間で1%上昇。全体の平均の同0・2%を大きく上回った。武蔵カントリークラブ（埼玉県）など「都心からのアクセスの良い名門クラブを法人が購入する動きが強まっている」（桜ゴルフ）。